

事業者を対象とした男女共同参画に関する事業

パネル展示「セクシュアルハラスメントのない社会へ」 を開催しました



●開催期間：10月5日（月）～10月9日（金）

●開催場所：越谷市本庁舎 1階ロビー

●内容：越谷市内の事業者を対象とした男女共同参画に関する事業として、パネル展示「セクシュアルハラスメントのない社会へ」を実施しました。職場におけるセクシュアルハラスメントと防止対策についてわかりやすく伝えるパネルの展示を通じて、働く人の人権を尊重し、ハラスメントのない職場づくりのために一人ひとりができることを考えました。

また、パネル展「ワーク・ライフ・バランスで企業も社員ももっと元気に！！」を同時開催し、ワーク・ライフ・バランスを積極的に推進する越谷市内の企業の取り組みを紹介しました。

パネル展示にあわせ、事業主・労働者向けの「ハラスメント相談窓口」チラシや With You さいたま広報紙 vol.61（「なくそう！セクシュアル・ハラスメント」特集号）、テーマに関連した「ほっと越谷」所蔵本リスト等の配布による情報提供も行いました。

●感想

・働く女性の3.5人に1人がセクハラを経験しているにもかかわらず、その多く（6割以上！）が「がまんした」というデータがあった。「そういうもの」と被害の意識もなくスルーしている人もいると考えると、潜在的にはもっと多くの人に被害経験があると思った。

・性的な話題をジョークやコミュニケーションだと思っている「認識のずれ」は、テレビのお笑い番組等のメディアの影響も大きいのではないかと思う。

・研修等でハラスメントの具体例と注意点を繰り返し学んでいるが、セクシュアルハラスメントだけでもさまざまな型に分類されていることは初めて知った。知らなければ「みんなそう言っているから」「うちの会社はそういう社風だから」と見過ごしているような事例もあり、知ることの重要性を感じた。

・展示パネルを読み進めるごとに、経験者の割合に対して、まだまだ現場・職場の認識は低いと感じた。「気づいたら声をあげていいんだよ」ということを、私も含め周りにも伝えられたらと思った。